

# かすみがうら

第237号  
 <毎月1日発行>  
 ■ 発行所 ■  
 霞ヶ浦医療センター  
 かすみがうら編集局  
 〒300-8585  
 土浦市下高津2-7-14  
 Tel : 029-822-5050  
 Fax : 029-824-0494  
 E-Mail & WebSite  
 201-kasumi.main@mail.hosp.go.jp  
<https://kasumigaura.hosp.go.jp/>



## 中村哲先生の メッセージ

△院長△  
 △鈴木祥司△

生長い長のをう現ンそ会援動そニと根九さ医国立経村先いがらにガ九  
 で特がはぺこ運な地せれ組ののすが絶八れ療立肥内先生る、四倒二年中  
 す任た、シらび場でンかを織た前タき計四てセ病前科生の九こ年れスー村  
 。補医国ヤれ医所誰病ら発一め年ンつ画年おン院療での誕月の近まタ二哲  
 中佐療立ワま療へも治二足ぺににへかににりタ機養、ご生一原くしン月先  
 村のセ病し活積行療○しシ非繼赴け参ハまし構所佐専日五稿にたの四生  
 先村ン院ルた動極かの年まヤ政続任で加ンし肥一賀門で日をな。地日は  
 生上タ機会を的なた近しワ府的さアしセたに前現県はずは書りあでに二  
 の優し構の現続にいめくたし系なれフたン勤精在の脳中いまれ凶ア○  
 メ先院さ会在け足よにハル支活、ガこ病一務神の国神中村てすか弾フー

せる者ツ  
 て社がセ  
 く会そー  
 れ的れジ  
 ます責ぞは、  
 す。を根私  
 を思底た  
 いにち  
 出考医  
 さえ療

関のれン方きその法へeー地単始事説はまになす一支人腸に○麻テ降二八  
 係糧ま式継の斜)自dnに純め業得限し中飲る命援が管苦○痺口の○九ア  
 なのでを灌げ後堰然 aにあにまーし界た村みかをだ死感し○し作米○年フ  
 くた住作漑るにををにstるコし緑てが先水、支け亡染み、年のしで、中九ソ  
 互め民成事よ誰参提寄orのト。大川の漑は提まるはまで泥干た。政心月連タ  
 いにはし業うも考唱りlrのをを。地にた用井供ずた限し約水ば。府と一のン  
 に、日まガにがにし、つt活かな計よめの戸すはめ界た。○飲でら機し一侵は  
 備思々しいー事し、つt活かな計よめの戸すはめ界た。○飲でら機し一侵は  
 兵想のたドP業ま筑たib用ける画る、井をるきにが。○飲でら機し一侵は  
 とと生。ラMをし後解oaすずべ。灌皆戸掘たれどあ医○ん飢に能た日攻一  
 しは活そイS引た。川決nsる現くを漑をでりめいうる療万でえ二が対以、九

と凡現。とい我人に現一活フもでぺに隔者樹漑なくすコ活担  
 伝な地中うで々とあ実平動ガ、誰シ皆てと立事くながミ動つ今  
 え結活村なあは人りの和をニ途もヤがな一直業なり、で制ては  
 て論動先文る生の力と続ス切がワ協く緒後につ、治は限おタ  
 いとを生明うき和(だはけタれ立し力国にもはたけ安取なりリ  
 まメ通がと。延解略)理てンるちルしのな前タそしはりど、バ  
 す。ツし三信そびを)念いのこ去会て復つ政リう裁す上ば女  
 せて○じれる探自天でま地とつはい興て権バで培つげか性が  
 得年るが道る然、はす。医く後れすた分責政。まりれマ社権  
 ジた間(まは以と共なく。療アでま。めけ任権漑た良ます会  
 だ平の略)つな外人、に、

る族の多アら参武りて  
 こが食くフレ加器ま戦  
 と一事のガるすをせ争  
 緒が願ニよる捨んに  
 だにといスうこてで参  
 そ故れはタにと、し加  
 う郷るーンなで灌た。る  
 ででこ三のり収漑る  
 暮と、三々しを業かか  
 せ家度のた。得にし、



## 麻酔科のご紹介

△麻酔科△  
 △福田 妙子△

い要医すまつをた軽りを  
 ま不学がりて確、く除方麻  
 す。欠手日立をす時る、少痛は、  
 な術々た尽るに診少痛は、  
 存に進なくた手療しみ、  
 在お歩いしめ術科でや手  
 といす診まに中でも苦術  
 なる療す寄のす。負痛を  
 つは現科。り安。担を取  
 て必代であ添全まを取

まやにた技のす方往体・手  
 す。嘔はり術薬。法歴評手術具  
 。吐術まを剤手の・価術前体  
 な後す駆や術説病・内の的  
 の診まし経日をの査に康活  
 対をたてブはお確デ合状動  
 応行、麻口、こ認しわ態で  
 をい手酔ツ数な、タせのす  
 行疼術にク種い麻やた把が、  
 い痛後あの類ま酔既身握

だをなて会てが手てんでな大術  
 さ思ついがいあ術い。もこきを様  
 いたま多まな室るあ、とな受々  
 。出時すくすたの間な一も決けな  
 しにがな。の大もた人多断る治  
 ては、いその勢、がでいでと療  
 頑、もこのとの麻麻はとあいの  
 張こしとよをス酔酔あ思り、中  
 つの手をう応タ科でりい、こも  
 てこ術祈な援ツ医眠まま不とも  
 くととつ機しフやつせす。安は手



# 歯科口腔外科のご紹介

△歯科口腔外科▽

〽荒木 大輔〽

をれる鬆をし血内どの上なる気のがき存多そだの行にす飲科関の  
 受て方症飲て管科が破下どー「荒腫起在岐のく機う関るみで係通歯  
 けい、のま血疾的挙損ののに、れれこすにたた能こ係、込すり口  
 らる糖おれ液患疾げな顎生う顎なてさるわめめをとすとむ。る一口  
 れ方尿薬てサで患らどのじ胞のど痛れ細た取の取でるい、食病口腔  
 てな病をいラ抗へれの骨る、骨のい菌りり診り、病つ、べ気腔外  
 いどの飲るサ血心まーのー、のー、ーに、扱療戻低気た楽るを科  
 る「治ま方ラ栓疾す外骨腫舌中粘、感よろう科し下の口しへ治のは  
 方の療れ、の療患、傷折瘍やに膜、染つ、の病でてし治のく嚙す機そ  
 は治をて骨お法やま「や、歯生の粘へて中気すいた療機会ん診能の  
 、療さい粗薬と脳た、歯、肉じ病膜顎引には、たそを能話で、療に名



くまる抱ま日安と科りす口会  
 だすよえす々全もや、る腔認当  
 さのうの。診・密他地診外定科  
 いで、日方一療丁にの域療科のは  
 々々口に寧連診の体疾一日  
 ど努の「当を携療か制患研本  
 う力おのたモを科かを全修口  
 ぞし力病つツ取のり整般施腔  
 ごてに気てトリ先つえに設外  
 相おなをお一安生けて対科  
 談りれおりに心方歯お応で、

活ハ対込べ気チ嚙すき腔目誤け科  
 動ビしめ物やし下。口外的嚙らでそ  
 にりにてなや加ムリま腔科と性れ全の  
 参テ、く水齡のハた、ケをし肺る身他  
 加し検な分に一ビ、ア受て炎方麻に  
 しシ査るがよ員リ近を診事の々酔も、  
 てヨ・機うるとテ年行し前予にの、  
 いン評能ま影ししでつてに防、手他  
 まを価障く響て、シはてい歯な術術の  
 す。行・害飲で、ヨ撰いた科ど後を診  
 うりにみ食病ン食まだ口のを受療

たこ主  
 りと治  
 して医  
 い心先  
 たし生  
 だけと  
 まを連  
 す。携  
 抜す  
 いる

い人な疫環集腸でしのにがの食けさ富なくな消糖物と  
 る当が力境ま内腸ズ動よ多粉のまどでりたり化質でしお  
 おたりををつは内なきつく食たす。な、まめ、さで、て米  
 米りま高整て免環排がて、にめ、り腸すの私れす。栄食は、  
 は一すめえい疫境便よ刺自比パま、内、エたる。養べ  
 年るるる細をがく激律ベンた、その食ネちと糖成ら日  
 一間日ここの胞整促なを伸てや、の善物ルがブ質分れのて的  
 九に本ととのえさり受経嚙麵米増玉織ギ生ドがのてい  
 六食人には、多まれ、けのむ類飯殖菌維しきウ体七いに  
 二べがも、腸くす。こス、反回なはをのも源て糖内割る主  
 年て一つ免内が。とム腸射数ど粒助え豊にいにでが食

△栄養管理室長▽

〽石井

民子〽

## お米のお話



緒しつ関古に利温がつもり  
 にいて東くも根暖格やなま新  
 味おい第か恵川な別「いし米  
 わ米ま一らま、気で一新たの  
 つをすの稻れ那候す粘米。季  
 て旬。米作て珂で、りは、収節  
 みの地どがい川、茨「穫が  
 ま味元こ盛るな久城一新さ巡  
 せ覚のろんたど慈県香鮮れつ  
 んと美とでめ水川は、りでて  
 か一味な、源「一間参

は弁やるまがをのこの単いととはピー  
 増当スこす影選かとい支身ま約、一ー  
 え、しと。響ぶか、人度世す半五ク八  
 て給パが一しよらごがに帯。分。〇で、  
 き食しで方てうな飯多時の共に、三  
 て、のきでいにいにく間増働ま七二キ  
 い外おる手るなパ比なを加きでキ〇ロ  
 ま食にコ軽とつンべつかかの減ロニグ  
 すのぎンに思たやててけら家少グニラ  
 。消りビ食わこ麵手いら食庭しラ年ム  
 費やニべれと類間るれ事やてムでが

### 【看護師・看護助手・医師事務作業補助者 募集中】

当院では、一緒に働いてくれる仲間を募集しています。

- 職 種：①看護師 (常勤・令和6年4月採用)
- ②看護師 (非常勤・随時採用)
- ③看護助手 (非常勤・随時採用・資格経験不問)
- ④医師事務作業補助者 (非常勤・随時採用・資格経験不問)

※まずはお気軽にお問い合わせください。  
 電話：029-822-5050 (採用担当まで)



糖尿病教室及び減塩教室は当面の間、お休みさせていただきます。